

地域のチカラ大集合



海南市の第2層協議体、増えてきています。

海南市での第2層協議体が16か所になりました。
海南市では旧小学校区（17地区）それぞれで、地域の困りごとや、助け合い支え合い活動について話し合っており、特色ある活動が生まれてきています。

異地区 ささえあいファームが誕生！

異地区の第2層協議体『異ささえあい』では、農作業を通じた地域交流の場として、「異ささえあいファーム」を開始。



地区内にある障害者のグループホームや高齢者施設、地域食堂（こども食堂）など多様な団体が参画。農業経験のあるメンバーが、参加した子供たちに農作業を教えたり、障害の有無や世代を超えて様々な人たちをつなぐ拠点となっています。



内海地区 地域カフェは憩いの居場所

内海地区の第2層協議体『ひろばどっこむ』では、月に1回誰でも気軽に集まれる地域カフェを実施しています。



カフェの様子



特技を活かした運営

地域カフェでは、地域の方々の特技を生かして、わたがしコーナーの設置や、琴の演奏会、写真展など多様な取組が展開されています。

また、ひろばどっこむと言えば、美味しいコーヒー。得意を活かして1杯ずつ丁寧にコーヒーを淹れてくれます☕

生活のちょっとした困りごとをお手伝い



ひろばどっこむでは、水道のパッキン取替、植木の剪定、家具の修理などの生活支援を行っており、助け合える関係づくりを地域カフェから実践しています。

仁義地区 郷土料理“さばめし”づくり

仁義地区の第2層協議体「いきいき仁義8クラブ」では、郷土料理の『さばめし』を海南高校生と一緒に作りました。



さばめしは、焼きサバを使った混ぜご飯。久しぶりに食べたという方も多く、具たくさんで栄養満点のさばめしはみんなに大人気でした。



ボランティア

車内の会話や待ち時間も楽しい♪乗り合って買物に行こう🚗

海南市初！外出支援ボランティア「乗ってって海南」



年を取って出かける機会が減っていませんか。乗り合いでの外出支援を行うことで、買物が助かるだけでなく、交流やお出かけの機会を作り、閉じこもりやフレイルを予防します。



心強い地域の方々の支援

予約受付の窓口は北野上公民館が担って下さり、活動車両は特別養護老人ホーム天美苑からお借りしています。



自分の目で見て買物したい

スーパーでの外出支援をすることで、自分の目で見て、さわって買物することができます。重い荷物もOK！沢山買えます。



生活のちょっとした困りごと

車の乗り降りのお手伝いや、荷物を玄関先まで運ぶなど、買物に関わる生活支援をすることで、暮らしの困りごとを解決◆

こども食堂

公民館との連携で😊 毎月わいわい一緒にごはん◆



こども食堂「かえる食堂」 ボランティアグループ おかえり

月に1回、色々な世代が集まってご飯を食べる。おしゃべりしながら笑いあって食べる。「久しぶりやね～元気にしてた？」などの声が飛び交い、子どもも高齢者も一緒に食事をする事で顔見知りの関係が広がってきています。中野上地区で活動する「かえる食堂」では、公民館をお借りした多世代型地域食堂の活動が始まっています。高齢者の参加も増えてきており、誘いあわせて友達同士で、ご夫婦で、もちろんお一人での参加もOK。移動手段がない方は乗り合いで来られることもあり、月に1回とても楽しみにされています。



ボランティア

子どもが笑うとみんなが笑う◆一緒に配食・見守り活動



給食ボランティア「わかば会」×内海小学校6年生 お弁当を届けよう！

給食ボランティアわかば会では、毎月お弁当を作り、見守りを兼ねて高齢者宅へ配達しています。

12月は内海小学校6年生と一緒に、1軒ずつ声をかけながらお届けしました。

「いつまでも元気でいて下さい」「風邪ひかないでね」

子ども達の言葉に、ほっこり笑顔が広がります。

6年生はできるだけ自分の住む地区を回れるようグループ分けされており、この活動をきっかけに、普段からの挨拶や声かけ、地域のつながりづくりのきっかけになればと思います。

